

「いじめについて考える日」

緊急事態宣言により、学校での2時間、家での4時間学習という生活が続いています。決められた時間に勉強や仕事をきちんとするのは、なかなか続かない場合があります。学校では、チャイムが鳴って、先生の合図があつて、気持ちが切り換えられます。まわりにはいつも、お友達がいます。お友達もがんばっているから、自分も頑張ろう…というように自分自身の励みになってくれることもあるし、互いに協力したり、お友達の邪魔をしないようにしよう、といった思いやりの心も育っていると思います。皆さんの、心の切り替えを手伝ってくれる仲間やお友達は、みんな大切なんです。

今日は、「いじめ」について考える日です。先生の考えを聞いてください。今までに、「自分自身を大切にしましょう。」「命をたいせつにしましょう」と聞いたことは何度もありますが、皆さんは誰に命を大切にしてほしいですか？ 誰に自分自身を大切にしてほしいですか？
…逆に、命を大切にしてほしいくない人がいますか？

まず、いじめとは、「されたり、言われたらいやだと感じることを人にすること」です。友達と意見が合わなかったり、喧嘩をしたとき、イヤな気持ちですね。いじめは、その気持ちの何十倍も何百倍も嫌な気持ちが、ずーっと続くのです。いじめられた人は、命の大切さを忘れて、死んでしまいたいと、本気で考えます。自分の命を自分でなくそうと考えるまで、つらくて、悩んで苦しむのです。大切な命を…です。

小学校生活は6年間で中学校生活は3年間です。この9年間は、長い人生の中でも、とても貴重な時間です。小学生は小学生の時にしかできない楽しいことがあります。中学生は中学生の時にしかできないことがあります。卒業してからは、もういちどみんなと授業を受けたり、休み時間にみんなとボール遊びをしたりできません。声を合わせて歌を歌ったり、行事に取り組んだりしたことは、学校での楽しい思い出になってほしいと思います。咲洲みなみのみなさん全員にです。いじめは、その人の人生を奪います。いじめに苦しみ悩んでいる間は、ほかのことを楽しく考えたりできません、勉強も手につきません。大切な9年間の大切な時間を奪っていることになりませんか？ 誰にそんな権利がありますか？

新聞やテレビで、いじめのニュースを聞くこともよくあります。他人事だと思わずに、自分の周りはどうかな? と考えてください。

普段楽しく遊んでいても、少しだけからかったり、いやなことを言ったり、無視したりしていませんか? 仲間外れにされ、からかわれ、モノを隠され、陰で悪口を言われ、いやなことをされ、いやだといえずに我慢をして、先生やお友達に相談することをためらって、一人で苦しんでいるお友達はいませんか?

まわりで気づいた人は絶対に止めなければなりません。

咲洲みなみの先生たちは、そんな悩みの人を、絶対に守ります。

周りで気が付いた人は、先生や仲間に必ず話してください。

からかいや、小さな暴力も見逃さずに、話をしてください。話す勇気を全員が持ってください。

一人一人の大切な時間を奪う権利は、誰にもありません。

貧しさや病気に苦しむ人々を一生かけて救い続け、ノーベル平和賞を受賞したマザーテレサという人が「愛の反対は、憎しみではなく無関心です」と言った言葉は有名です。

周りでいじめられて、つらい気持ちになっている人がいるのがわかっているのに、何もせず無関心でいることは、苦しんでいるお友達を大切にしているのではなく、いじめているのと同じだというふうに考えられますね。

どうか、自分や家族や仲間やお友達を大切に思う心をしっかりと持ち、いじめをしないこと、目の前にいじめがあるのに無関心を装ういじめをしてしまわないように・・・

咲洲みなみの皆さん全員が、それぞれの人生の時間を大切に過ごせることを願っています。

それができるのは、皆さん一人一人です。

いじめは、私たちの楽しい生活の敵だという強い気持ちをしっかりと持ってください。

以上